

血液浄化療法部 発足



7月7日、七夕コンサートにて「羞恥心」を踊る保育所の子供たち

当グループでは、臓器不全治療の地域の中核病院として、積極的に血液浄化療法治療を行ってきた。血液浄化療法は集中治療室における多臓器不全や重症疾患を扱う急性血液浄化療法と、慢性腎不全の管理を行う維持透析療法に分類される。

現在、維持透析療法は玄々堂君津病院、坂田クリニックそして玄々堂木更津クリニックの3施設で分散して行っている。今までは各施設で独自の運営を行ってきたが、今後はグループ全体で問題点を共有しあい、より良い血液浄化療法を行うために、施設を越えた

NSOT（栄養サポートチーム）と感染制御委員会、合同学習会開催

NSOT（栄養サポートチーム）が稼動して1年が経過した。NSOTは、適切な栄養管理を提供し、感染症や褥瘡の予防などを目的としている。これまでに、看護師による栄養スクリーニング、管理栄養士による栄養アセスメント、理学療法士による嚥下訓練の体制整備、NSOT回診などを行ってきた。

6月3日には、坂田研修室にて、感染制御委員会とNSOTが合同で院内学習会を開催した。病院職員50名が参加し、「T・PN（末梢静脈栄養）・PPN（中心静脈栄養）の感染予防の実践」と題して、大塚製薬の堺哲夫さんより講義があった。適切な栄養投与ルートの選択やその

組織としての血液浄化療法部を発足した。

管理などについて、お互いの委員が共通した認識のもと、情報交換を行うことで、より質の高い、感染制御と栄養管理の提供ができることを学んだ。

3月28日、坂田研修室にて病院教育委員会主催の学習会が行われ、45名の職員が参加した。今回は西川生理機能検査室長より透析患者さまの検査について、関根放射線技師長より透析患者さまの放射線検査についての解り易い説明が行われた。

腎機能を評価する血液検査データの内容及、心電図、骨に対する検査についての説明。心臓の大きさを評価するエックス線撮影・3DCT・透視撮影等についての説明があり、透析患者さまの検査についての知見を得る機会となった。会場では質問等も積極的に行われ、内容の濃いものとなった。

「透析を知」の学習会開催

5月24日、第87回糖尿病教室が開催された。はじめに「糖尿病とは？」のテーマで鳥飼看護師が、参加者の視点に立ち、糖尿病患者の現状や日常生活での注意事項等について説明した。次に「糖尿病の運動療法」のテーマで小林理学療法士が、運動の目的や有酸素運動の重要性について説明した。また、西井管理栄養士が「糖尿病の基本は食事から」と題し、食品交換表を用いて、適切なカロリー計算を行いながら、バランスのとれた献立作りができるようサポートを行った。参加者は3名と少数だったが、個別の質問や悩みに対応でき、糖尿病の

第87回 糖尿病教室開催

5月24日、第87回糖尿病教室が行われた。はじめに「糖尿病とは？」のテーマで鳥飼看護師が、参加者の視点に立ち、糖尿病患者の現状や日常生活での注意事項等について説明した。次に「糖尿病の運動療法」のテーマで小林理学療法士が、運動の目的や有酸素運動の重要性について説明した。また、西井管理栄養士が「糖尿病の基本は食事から」と題し、食品交換表を用いて、適切なカロリー計算を行いながら、バランスのとれた献立作りができるようサポートを行った。参加者は3名と少数だったが、個別の質問や悩みに対応でき、糖尿病の

看支システム導入

4月から看護部では、看護記録業務の効率化や患者情報の共有化による患者さまへのベッドサイドケアの充実を目的に、ケアコムの看護支援システム、ケアパルシステムを導入した。

看護支援システムとは、パソコンを利用して、患者情報管理ベッド管理看護情報管理ベッドサイドケア、勤務スケジュール作成などの看護師の業務を支援するシステムで、患者さまへより良い看護の提供を期待している。（関連記事3面）

マンモグラフィ 新機種へ更新

6月26日、乳房撮影装置が三カミノルタ社製のPCMシステムRegius PureViewタイプMへと更新された。国内でも3台目の設置という最新型デジタル装置で早期乳がんのサインであるがん細胞周辺の微細な石灰化や腫瘤影を鮮明に描出することが可能となり、より質の高い検査を提供できるものと期待している。

器械消毒の中央化導入

病院に於ける洗浄・消毒・滅菌の業務は、安全、感染対策において重要な部分である。

使用器械の一次洗浄消毒は、今まで各部署単位で高水準消毒液に浸漬する方法で実施してきた。4月から、ナースエイド業務改善の一貫として、器械消毒の中央化とメッセンジャー業務の委託が導入され3ヶ月が過ぎた。滅菌の専門業者である鴻池メディカル・スタッフと連携をとり業務を進めることで、安全かつ効率よい業務展開をすることができた。（関連記事3面）

救急看護 基礎研修開催

6月28日、坂田研修室にて、新入中心に看護師14名が参加し研修会が開催された。グループに別れて、心臓マッサージや気管挿管のデモンストラーションが行われ、本番さながらの緊張感の中、参加者からはイメージしやすかったとの声が多かった。

君津訪問看護ステーション リニューアル

坂田クリニック透析室拡大に伴い、このたび君津訪問看護ステーション及び玄々堂ヘルパーステーションが坂田クリニック隣の建物に移転し、リニューアルした。

これまでの経験を生かし、地域の在宅ケアに貢献できるよう、スタッフ同気分も新たに質の高いサービス提供を目指している。

看支システム導入

4月から看護部では、看護記録業務の効率化や患者情報の共有化による患者さまへのベッドサイドケアの充実を目的に、ケアコムの看護支援システム、ケアパルシステムを導入した。

看護支援システムとは、パソコンを利用して、患者情報管理ベッド管理看護情報管理ベッドサイドケア、勤務スケジュール作成などの看護師の業務を支援するシステムで、患者さまへより良い看護の提供を期待している。（関連記事3面）

安心して療養生活を過ごすには

玄々堂君津病院医療相談室長 伊藤 ゆり子

「医療ソーシャルワーカー」という言葉を聞いた事がありますか？病院の中で福祉の仕事をしている専門職の名称で、当院では3名配置され、医療相談室にてお話を伺っています。

相談に来られる方のお話は様々です。「お金が心配だから治療が受けられない」「そんな心配が少し



医療相談室長 伊藤 ゆり子

も軽減でき、安心して治療が受けられるようお話を伺いながら一緒に解決方法を考えます。また、「退院するのに家の中の環境を整えたい」というお話しの場合は、その方が利用できる福祉サービスや社会資源をご案内します。「自宅で介護することができないから生活できる場所を探したい」という場合は、施設情報を提供させていただきます。高齢でも住み慣れた家で1人暮らしを続ける方や、高齢者が高齢者を介護して療養生活を続ける世帯も多く、相談室で何うお話し、まさに社会の縮図だと感じます。

「医療ソーシャルワーカー」という言葉を聞いた事がありますか？病院の中で福祉の仕事をしている専門職の名称で、当院では3名配置され、医療相談室にてお話を伺っています。

相談に来られる方のお話は様々です。「お金が心配だから治療が受けられない」「そんな心配が少し

平成20年度 永年勤続表彰者

- (50音順)
- 30年
 - 伊藤 かつさん 杉村 昭文さん
 - 西川 栄子さん
 - 20年
 - 大澤 廉也さん 岡崎 弘子さん
 - 古原 絹子さん 斉藤 千恵さん
 - 作山 敦子さん 白井 洋子さん
 - 鈴木 明美さん 林 美恵子さん
 - 溝口 さちえさん 吉田 一郎さん
 - 吉成 昭雄さん
 - 10年
 - 明石 恭子さん 安高 由紀さん
 - 大内 佳恵さん 大野 八朗さん
 - 緒形佐知子さん 織本 廣子さん
 - 桐越 淳也さん 小池美沙緒さん
 - 小石紀代美さん 境澤 雅也さん
 - 谷 美行さん 寺坂 裕子さん
 - 野中 由美さん 長谷川 民世さん
 - 花澤 久代さん 原田 恵さん
 - 藤本 千恵さん 藤原 太子さん
 - 町田 恵子さん 松井 和之さん
 - 山口 曜さん 山下美弥子さん
 - 渡辺 仙志さん

新入職員 砂川主任の講義に聴き入る

6月28日、坂田研修室にて、新入中心に看護師14名が参加し研修会が開催された。グループに別れて、心臓マッサージや気管挿管のデモンストラーションが行われ、本番さながらの緊張感の中、参加者からはイメージしやすかったとの声が多かった。

永年勤続表彰者の言葉

『皆さまに支えられて』

5月18日マザー牧場にて永年勤続表彰が行われました。今回は30年、20年表彰者の感想を紹介します。次回に10年表彰者の感想を掲載します。



薬局 杉村 昭文

昭和53年、病院に入社以来あっという間に30年が経過しました。入社当時病床は47床で職員はまだ少なく薬剤師は2名でした。

この30年の経過のなかで病院も発展し、現在職員数は450名を超え薬剤師は15名となりました。

この病院の発展の中で自分が過ごせたことに大変嬉しく思い、また誇りに思います。これもひとえに院長、前院長はじめ多くのスタッフのおかげと大変感謝いたしました。今後も病院の発展のため少しでも役にたてるよう努力するつもりです。今後ともよろしくお願ひします。

臨床検査科 西川 栄子

勤続30年表彰をしていただきありがとうございます。これまで勤められたのは皆様の支えがあったからと大変感謝しております。これからもよろしくお願ひ致します。

木更津クリニック 伊藤 かつ

30年勤続表彰有難うございました。当時、保育所を併設している病院は当院しかなく本当に子育てをしながら安心して働く事が出来ました。二人の子供達も保育所のお母さん先生に、心優しい気持ちを持って子供に育てて頂き、感謝しています。先生方や諸先輩の指導や励ましのおかげでこれまでやってこれました。定年まで体力の続く限り頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。



30年表彰者



外来 岡崎 弘子

早いもので玄々堂君津病院に入職して20年、仕事と子育てを両立し悩んだり笑ったり、時間の経つこと早さを実感しています。仕事を通して様々な事を体験し、多くの人に出会って、たくさんの方を教えて頂きました。今思えば、仕事をしていたからこそ得られた事がたくさんあり、充実した20年だったと思います。就学前だった子供も成人し、今では逆に励まされる事もあります。これまで、支えて来て下さった家族や多くの皆様に感謝し、これからも自分の役割を自覚して、努力を怠れず頑張りたいと思います。これからもよろしくお願ひ致します。

電算室 大澤 廉也

20年間にわたり勤務できましたのも周囲の皆様の寛容とご鞭撻のお陰と心から感謝いたします。なお、本年は電算室全員が勤続表彰を授かり、部署としても喜ばしいかぎりです。今後も初心を忘れず前進する所存ですのでよろしくお願ひ申し上げます。

2階病棟 鈴木 明美

病院の皆様の支え、家族の協力があり20年続けることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

4階病棟 林 美恵子

「もう、そんなに経つのか？」と携帯から長男の声。3才と1才だった子供達が23才と21才。手抜き育児と手抜き家事の技術と技をフルに活かした20年。笑いながら許し協力してくれた、夫と子供達に感謝。そのおかげで、「看護」だけは手抜きせず全力でこれました。病院の皆様にも大きな感謝。

木更津クリニック 齊藤 千恵

永年勤続表彰ありがとうございます。10年勤続の時、10年はあったという間だったと思いましたが、それからまた10年...これからも「おかげさまで」の気持ちを忘れずに頑張ります。

臨床工学科 吉成 昭雄

永年勤続表彰をいただきありがとうございます。今思えば、あつという間だった気がします。

私がここまで勤められてきたのは、職員の皆様や患者様の支えがあったからこそだと深く感謝しております。これを節目とし初心を忘れずに、日々精進していきたいと思ひます。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

ボランティア活動ニュース

埼玉県越市より ボランティア見学会

5月15日、埼玉県川越市にある「介護老人保健施設すみよし」の職員5名がボランティア見学会に来院しました。地域に開かれた施設づくりを目指してボランティア委員会を立ち上げ、受け入れ準備を進めています。実際に活動しているボランティアの方の生の声を聞きたいとの希望があり、大神看護部長、当院のボランティアの方3名と交流の場を持ちました。ボランティア活動を始めたきっかけや、病院



「介護老人保健施設すみよし」の職員さんの質問を真剣に聞くボランティアさんたち

職員との関係づくりなどについて次々と質問があり、予定の時間を超えても話は尽きることなく、お互いに有意義な情報交換をすることができました。

臨床工学科 吉田 一郎

20年前と現在は、時間量は同一ですが、経過は20倍早く感じます。院内外、皆様に感謝申し上げます。全力で職務に専念する所存です。

ICU 古原 絹子

早いもので入職させて頂き、あつという間の20年でした。あのころは増床に伴い看護師不足で学生制度も取り入れ私はナースエイドから学生を経て看護師になりました。どの部署にいても動けるナースになるようにとすべての部署に配属されましたがどの部署でも周囲のスタッフ、患者様に助けられ毎日楽しく過ごすごうができました。大きな病気もせず元気に過ごさせて頂き本当に有り難いと思ひます。お陰様で見てくださ

外来 白井 洋子

表彰有り難うございます。二十歳の歳月、看護補助として、仕事が出来たことを大変嬉しく思ひます。部長を初め良きリーダーに恵まれ今日を迎えられた事に深く感謝致しております。今後は今まで学んできたことを生かし業務に頑張りたいと思ひます。

部署紹介コーナー

～ 臨床検査科 ～

今回は、アットホームな検査科を紹介します。



▲高梨 技師 ▲大古 技師 ▲扇田 技師 ▲淵上 技師 ▲西川 生理機能検査室長 ▲磯部 技師 ▲上野 技師 ▲平野 主任技師 ▲五十嵐 技師

これらの検査項目の多くは、夜間外来終了まで検査できる状態を維持しています。そして、夜間外来終了後の深夜帯や休日は当番制で、緊急を要する検査の依頼には24時間対応できる体制をとっています。



▲桐谷 技師 ▲立石 技師 ▲山田 技師 ▲梅澤 技師

また最近では、他職種間で知識を持ち寄る「栄養サポートチーム」や「感染制御委員会」に積極的に参加しており、臨床検査の知識と技術をより生かしていくための新しい取り組みとして挙げられます。最後に、臨床検査科はこれからも患者さまが安心して質の高い検査

20年



20年表彰者

クローズアップスタッフ

Produced by J.Kimura

今回は、臨床検査科の淵上さんをクローズアップしたいと思います。

Q・現在、どういった検査を担当していますか？

淵上・今は主に尿検査を担当しています。尿蛋白や糖や潜血を+、-で報告する検査です。さらに「尿沈渣」といって、尿の細胞を顕微鏡で見る検査も行っています。

Q・仕事をする上で大切にしていることは何ですか？

淵上・私たち検体検査担当の検査技師は患者さまの目に触れない場所で仕事することが多く、つい検体や分析装置ばかりに意識が集中してしまいがちです。しかし、検査の依頼がある背景にはその検査を必要としている患者さまがいるという気持ちを大切に、良い仕事をしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

「血管外来」の紹介

1月から血管外科専門の佐藤先生が常勤医師になりました。
聞き慣れない「血管外科」について説明していただきます。



佐藤和弘先生

「血管外来」と聞いて、なかなか対象となる病気が分りにくいかもしれません。血管外来で取り扱う病気は非常に多岐にわたりますので、紹介するのは困難です。メインとなっている血管の「瘤」(「詰まり」を中心に扱う病気についてご紹介させていただきます)。

まず、血管は心臓から全身に血液を送る「動脈」と、心臓に戻る血液が流れている「静脈」とに大別されます。それぞれに「瘤」になる病気が、「詰まる」病気が存在します。

① 動脈の「瘤」

心臓に直接つながっている、非常に大きな動脈を「大動脈」と呼び、そ

こに瘤ができた状態を「大動脈瘤」と言います。症状はほとんどないことが多く、診断される方の90%程度は、他の病気の検査の際に偶然発見されることが多いようです。大動脈瘤が破裂した場合、非常に死亡率が悪く、破裂前に手術をすることが治療の基本となります。

大動脈以外の動脈に瘤ができた場合も大きさによって手術の適応となります。

② 動脈の「詰まり」

動脈硬化が原因で動脈が狭くなり、十分に血液が送れなくなる状態です。足の血管に起きた場合には「閉塞性動脈硬化症」と呼ばれ、歩行をしているとふくらはぎなどが痛くなる「間歇性跛行」を起こすことがあります。また、ひどくなると足先



③ 静脈の「瘤」

温泉などで足の血管がポコポコ腫れている方を見たことがありませんか？ 下肢の静脈に瘤ができることが多く、「下肢静脈瘤」と呼ばれています。静脈には逆流防止弁が付いているのですが、それが壊れると静脈の圧力が上がり瘤化して様々な症状を引き起こします。足のだるさ、むくみ、夜間のこむら返り、皮膚炎、潰瘍などが主な症状です。逆流のある血管を抜去する手術が基本治療となりますが、注射で逆流血管をつぶす治療なども行います。

④ 静脈の「詰まり」

エコノミークラス症候群という言葉を聞いたことがあるでしょうか？ 長時間足を動かさないうつろきなどに、足の深部静脈に血栓ができ、静脈の流れが悪くなった状態です。専門的には「深部静脈血



栓症」といい、足の強いむくみ、痛み(片足だけのことが多い)が症状として出てきます。できた血栓が血流の滞りによって肺に飛び、肺の血管に詰まる「肺動脈塞栓症」を引き起こし重篤化する恐れがあります。治療としては血栓を溶かす治療、血栓が内服していただく治療があり、肺に血栓が飛びそうな場合には血管の中にフィルターを入れる治療を行います。

対象となる疾患で比較的頻度の高いものを挙げさせていただきます。血管外来について少しでもご理解いただければ幸いです。

看護支援システムを導入して期待すること

副看護部長 岡崎弘子

4月から準備教育期間を終えて少しずつ段階的に看護支援システムの稼働を開始しました。

入院患者情報については医事コンピュータとの連動が可能となり、全館のベッド管理の効率化に繋がるようになり、勤務作成ソフトとの連動で、病棟日誌や看護管理日誌への反映ができ、手書きや転記作業が改善される見込みです。

管理帳票作成の効率化が図れました。病棟での看護業務としての活用は、まだまだ覚える作業が多くて戸惑いを伴っていますが、システムを円滑に活用することで患者さまへのケアの向上に繋ぐことができると思います。

平成20年度4月の診療報酬改定では、患者さまの状態を客観的指標を基に数値化して看護を測定する仕組みである看護必要度が配置管理に必要になりました。この看護支援システムには看護必要度の項目も組み込まれていますので、今後、看護必要度評価を基に適正な人員配置に役立てていきたいと思っています。



ベッドサイドで携帯端末へ入力する病棟看護師

看護計画作成機能においては現在使用している標準看護計画をベースにシステム化できるように検討を重ねています。患者さまの状態を把握して、スピーディに看護計画を立案し看護展開できてベッドサイドでのケアがより充実することを期待しています。



看護支援システム「ケアパルシステム」を操作中の看護師

手術室の新しい取り組み

一次洗浄中央化と滅菌器材管理システムの導入



浦池メディカル株式会社 受託責任者 大槻 清美

音波洗浄機能とジェットウォッシュ機能と同時に作動することができ、且つ汚染除去機能、感染症器材処理も一括して洗浄・消毒が可能で、

また、プログラムの設定により、防錆・潤滑処理・器具乾燥処理と全ての工程が完全自動化されます。

WDの処理機能としては、鋼製器具類はもちろんのこと、麻酔器具(蛇管チューブ類やマイクロ機械類、ラバロケット用のアタッチメントなど)現在では最新の装備品で対応範囲も大幅に拡大して



最新型WD装置

います。

更に、高速器具乾燥機は今まで中央材料室にて使用されていた器具乾燥機の約10倍の速さで器具類(チューブ類)の乾燥が可能で、

この設備の設置により、今までマンプワーを必要とされてきた業務がWDの機能により自動処理化され、安全且つ業務の効率化、簡略化と洗浄・消毒液類のコストダウンが可能になり、今まで実践できなかったスタンダードプリコーションの

実践が可能になりました。

3月27日より、各部署で行ってきた滅菌器材の洗浄・消毒業務を中央材料室にて一括処理する一次洗浄中央化と同時に、滅菌器材管理システム(伝票レスシステム)の導入、錘子の単品包装化・ガーゼカストの廃止等を導入し、感染予防上で品質の向上とコストダウンの両立が可能になりました。

現在、導入に伴って各部署の調整が一段落してきましたが、各部署の担当者の協力には感謝と共に、日々の業務に対しての前向きに取り組む姿勢には私も勉強させられました。今後とも、更に効率化を推進し診療現場で働く皆さまのサポートをさせて頂ければ幸いです。

新入職員3ヶ月研修を終えて

看護部教育担当 木村 純子

7月9日、37名対象に新入職員3ヶ月研修を総務課の宮本課長と実施しました。現状の問題を明らかにし今後の方向性を明確にするという目的のもと、山口事務部長に入社して3ヶ月経過した職員に望むことと題して講義をしていただきました。それぞれの能力を最大限に発揮すること、自分に何が求められているのか早く読んで気をつけ、職場で存在感を示して欲しいと述べられました。



現状の問題点を発表する新入職員

病院の理念・方針を再確認し、文化人類学者の川喜田次郎氏の開発された問題開発技法であるKJ法を用いて、現状の問題と解決法を検討しました。現在直面している壁を認識する機会となり、6グループに分かれて、検討した内容を模造紙に表現する作業を通してチーム力や役割分担の必要性を実感することができたのではないかと感じています。今後の課題として、日々努力を重ねて技術を磨いていくことや相手の立場を考えた関わりの大切さを学び、実践していくことを誓いました。研修を企画し、毎回新たな学びを共有できるように感謝いたします。

「プレヒューク」



外来クラーク 富野 優子

私は小さい頃から特に運動神経が良い訳でもなく、何かに打ち込んだ事もありませんでした。しかし、そんな私が現在ハマっているのがフラダンスです。

フラダンスとの出会いは三年前、従姉の結婚式で訪れたハワイで観たのが最初でした。その時、女性達のしなやかな美しさから伝わってくる何かに魅かれ、一年後職場の先輩に紹介してもらい、教室へ通うようになりました。

「やってみると意外と大変」という言葉を耳にしましたが、腰を低く下げて指先まで神経を行き渡らせ、花・波・山の様な気持ちを



発表会での衣装

身体を使って表現するのは、実際に仲間と初めて発表会で一曲踊り終えた時には爽やかな達成感を覚えたものです。

年齢性別関係なく、一緒に踊れるというのもフラダンスの魅力の一つであり、とにかくとってもしっかり楽しんでいます！

ストレス発散にもなりますし、もしもしたらダイエットにもなるのでは、「と秘かな期待もしつつ、今後もおばあちゃんになるまで続けていきたいと思っています。

人事往来

【異動】

(4月2日～7月1日まで)()内は旧所属部署

- ICU病棟 平野 明美 (外来)
●ICU病棟 山上 聡子 (2階病棟)
●3A病棟 野村 アコ (3B病棟)
●3B病棟 玉坂 寿美子 (3A病棟)
●4階病棟 林 美恵子 (坂田クリニック)
●外来 中尾 薫 (3B病棟)
●透析室 石井 ルミ (4階病棟)
●透析室 伊藤 悦子 (2階病棟)
●総務課 福坂 孟寿 (医事課)
●坂田クリニック 西牧 奈津恵 (透析室)
●坂田クリニック 菅原 梨江子 (3B病棟)
●坂田クリニック 天野 志保 (外来)

【新入職員】

(4月2日～7月1日まで)

- 看護師 砂川 有紀 (4/14～)
●看護師 板垣 由香 (5/1～)
●看護師 萩野 淳子 (5/1～)
●看護師 宇都宮恵美子 (6/7～)
●看護師 中川原 里美 (6/10～)
●クラーク 三原 瞳 (7/1～)
●理学療法士 保坂 聡 (4/21～)
●保育所調理員 福原 陽子 (4/7～)
●保育所調理員 林 康子 (5/26～)
●訪問介護員 福岡いずみ (4/7～)

初めてのマザー牧場へのハイキングに参加して

5月18日、恒例のマザー牧場への新入職員歓迎ハイキングが行われ、職員家族総勢361名が参加しました。



みんなの励ましに支えられて8キロクリア!

リハビリテーション科 保坂 聡

天気は五月晴れ。10年ぶりのマザー牧場。徒歩で約8キロのコース。新入職員として初めてハイキングに参加させて頂きました。

マザー牧場ではおいしい空気を吸いながら、ジンギスカンとビールを堪能し、空腹を満たしました。

新入職員として、病院外で皆さんとの楽しい時間を過ごさせて頂いたことは私にとって大変貴重な経験であり、親睦を深める事ができました。

今後は私も職員の一員として、病院を盛り立てていきたいと意欲を新たにしました。

最後にこの企画を計画してくださった皆様には大変感謝しております。

またこの行事を通して知り合った皆さんの職員の方々とも、今後仕事を通してもお付き合いさせて頂ければ大変嬉しく思います。

放射線科 重岡 勇人

僕が4月1日に玄々堂君津病院に入職して、初めてのマザー牧場へのハイキングでした。天候にも恵まれ、ハイキング日和でした。

病院をバスで出発し、佐貫駅から歩いてマザー牧場を目指しました。同部署の先輩方はもちろんのこと、普段なかなか接することのできない他部署の方々からも貴重なお話を聞くことができ、とてもよい時間となりました。

約8キロ、途中足場の悪いところや急な上り、下り坂もありましたが、約2時間をかけ歩き通すことが出来ました。終わってみればあつという間の8キロでした。

マザー牧場に到着すると、楽しみにしていたジンギスカンが待っていました。

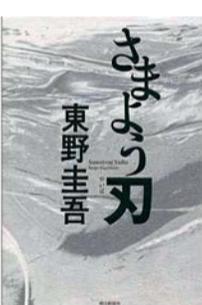
私のおすすめ図書

このコーナーは職員によるバトンリレー方式で本を紹介しています。今回は「さまよう刃」の本を紹介いたします。

この本は直木賞作家、東野圭吾さんの長編小説です。不良少年達に蹂躪され死体となった娘の復讐のために、仲間の1人を殺害し逃亡する父。世間の賛否は大きく分かれ、警察内部でも同情論が密かに持ち上がりま

す。犯人を裁く権利は遺族にあるのか否か?を問うた作品です。少年犯罪における刑罰の軽さ、被害者や遺族感情を考慮しない社会システム、もし自分だったら、という仮定をすんなりと受け入れさせてしまう東野さんのリアルな

筆致は説得力があります。この社会を作っているのは自分たちなのだということを、改めて考えさせられる作品です。(T・M)



ジンギスカンに満足!

ました。大きな建物の中にびっしりと埋まった席を見て玄々堂君津病院の規模の大きさにびっくりしつつ、食事を楽しみました。新入職員との挨拶という貴重な時間も作って頂き、色々な方に顔を覚えていただけたと思います。

このような素晴らしい行事に参加させて頂きありがとうございます。これからも一生懸命頑張っていきたいと思えます。

標高2568mある世界有数の活火山です。火山性の土と岩のため樹木が少なく、眺望がよいので大自然のダイナミズムを実感できる山として人気があります。

浅間山は 野馬と群馬の県境にある「浅間山」を紹介したいと思います。

サブタイトルは “あさまやま”



浅間山は

このような名所から、噴火の凄まじさや自然の複雑さを感じてみてはいかがでしょうか。なおそこに芽生えた草木の命の営みに感動してみてもいいかもしれません。

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

編集後記

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

今年のは夏はクーラーを買いたいです。(325)

玄々堂君津病院の理念
方針【良質な医療を患者さまに】
1. 総合診療(患者さまを全体として見る)を中心に、専門診療(高度な専門的医学知識・技術)を取り入れて良質な医療を提供いたします
2. 多様な医療を準備し、一人ひとりの患者さまのニーズに応じた医療を提供いたします
3. 職員はおのおのその専門分野の知識と技術の向上に努めます
【安心なぬくもりのある医療を患者さまに】
4. 医の倫理を守り、患者さまの権利を尊重いたします
5. インフォームドコンセント(説明と同意)を徹底させ、信頼と協力に基づいた医療を行います
6. 安全対策・感染対策を十分に行い、アメニティにも配慮いたします
7. 病院・クリニック・訪問看護ステーション・ヘルパーステーションが一体となって健診・医療・看護・介護サービスに取り組みます
平成17年1月1日

Table with 6 columns (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and 4 rows (一般外来, 専門外来, 医師別外来, 内視鏡検査) showing doctor schedules for the hospital.

※一般診療時間予定に関しては、変更になる場合がありますので、当日確認してからご来院ください。TEL0439-52-2366 係: 伊藤・大口
外来診療時間/午前 8:30~12:00 午後 14:00~15:00 夜間 18:00~19:00
再来受付機稼働時間/午前 7:50~12:00 午後 12:10~15:00 夜間 15:10~19:00 ※土曜日の夜間診療はありません。